



校長 杉浦 伸一

〇コロナ禍でも様々な教育活動が充実し始めた1年

世の中では、ようやくマスクを取って日常生活を送れる日々が訪れ始めました。この1年間、各学年で楽しみにしていた宿泊行事は全て実施でき、いずれも天候に恵まれ、充実した活動となり、大きな成果と成長を遂げることができました。日々の教育活動も含めまして、墨中生徒が大過なく安全で充実した学校生活を送れたことに対し、常にお子さんを支え、見守り、学校にご理解ご協力いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。昨日(16日)令和4年度卒業式予行及び表彰等を行いました。この3年間で全校生徒約450人が体育館に入るのは初めてでした。演台から眺める全校生徒の姿は壮観で、初めての状況にもかかわらず、その礼法、態度は2時間乱れることなく立派なものでした。次年度もさらに進化し続ける墨中を期待させる場面でした。



3年ぶりに全校生徒が体育館に集合

令和5年度に向けて

次年度は、次のような点に力を入れて参りますのでご理解、ご協力をお願いします。

〇学力向上と不登校対策

ICT機器(1人1台のタブレットパソコン)を活用した学習展開の充実と増加傾向にある不登校問題に、区の研究指定校を受け取り組みます。

〇保護者・地域の方々との交流の復活

コロナ禍により、子どもたちが地域行事に参加できなかつたり、保護者の皆さんに行事や授業の公開ができなかつたりと保護者・地域の皆さんとの交流の場が制限されていましたが、本年度ハートフルコンサートやふれあい学習発表会が公開できるようになりました。今後は、地域の方々はもとより、PTA執行部や学年、委員会役員の方々の皆様のご協力・ご支援をいただきながら、様々な教育活動を行って参ります。

〇学校部活動の在り方検討と教員の働き方改革の推進

国や都、区の教育委員会の方針(ガイドライン)に基づき、地域移行(スポーツ団体、保護者、民間事業者等)を視野に入れた、学校における部活動の見直しを行うとともに、授業を中心に生徒と接する時間を確保し、業務の効率化や教員のライフワークバランスが図れるよう体制の工夫をして参ります。

〇男女混合名簿

男女平等参画社会の視点から、次年度より男女混合名簿を使用します。

-よくコロナ禍を耐え抜いた令和4年度墨中卒業生の未来に幸あれ-

今年の卒業生の皆さんの中学校生活は、2か月間の全国一斉学校閉鎖期間明け、6月の入学式から始まりました。以来3年間コロナ禍で様々な教育活動の制限を受けながらも、ピンチをチャンスに変え、授業に集中して落ち着いたまとまりのある学年、優しさと思いやりのある生徒など、今日の墨中をこれまでにないよい学校、選ばれる学校、誇れる学校に変えてくれました。後に続く在校生へも皆さんをお手本に、新たな進化を遂げる筋道も残してくれました。

皆さんが将来、やりがいのある職業に就き、健康で笑顔あふれる幸せな家庭・家族を築き、老後も健康で家族と楽しく過ごせる人生が送れるよう、一步一步、そして一生涯学び続ける意欲をもって長い人生を歩んでいってほしいと思います。みなさんの三年後、十年後、二十年後を先生たちは楽しみにしています。